



議会だより

な お し ま

2012
No. 161

平成24年10月10日

発行 ● 香川県直島町議会
編集 ● 議会広報編集特別委員会
電話 ● (087) 892-2297
印刷 ● 山陽印刷(株)



離島甲子園に出場(八丈島)

備蓄施設の整備は(事務報告)..... 2P

町長どう考えますか(一般質問2人)..... 5P

防災計画見直しは(町長・教育長報告)..... 6・7P

誠意ある対応を要望する(委員会レポート)..... 8・9P

**やるからには日本一!(消防団第1分団操法チーム)..... 12P
(がんばりよるで)**

時の備蓄施設は

(9月定例会)

平成24年第3回定例会を9月11日から19日まで、9日間の会期で開催しました。

平成23年度の事務報告や一般会計・特別会計および簡易水道事業会計の決算を慎重に審議し、全員賛成で認定しました。

一般質問には2人が町政を問いました。

平成24年度の補正予算や直島町高等学校生徒通学航路費等補助金交付に関する条例の一部を改正する条例制定など21議案・報告2件・意見書案1件をいずれも原案どおり全員賛成で可決しました。

今年度
診療所内に



濱田町長

事務報告(抜粋)

歳入全体では、長引く不況等により、個人町民税や固定資産税は減となったものの、法人町民税その他の税収入では増加となり、国庫支出金が減となったものの、地方交付税などの増により、昨年度を上回る結果となりました。

また、歳出全体に占める公債費の割合が高い水準で推移しているため、厳しい財政状況となっておりますが、町の将来を見据えた事業を行うため、離島振興法や辺地・過疎対策事業債などの交付税措置のある有利な地方債の活用を図りました。

なお、環境活動・文化活動・地場産業の育成など多角的経済基盤の確立を図るとともに、交流人口の増加、観光・商業のさらなる振興に結びつけ、新生直島としての発展に向けた揺るぎのない土台づくりとなる重要な年度として各種事業の推進に努力しました。

禁煙条例をつくる?

一般会計

◎歳入
町税は減となりましたが、地方交付税や繰入金などの増により、総額で対前年度比1.2%の増となりました。

◎歳出
一般行政関係では、戸籍関係で事務の効率化や窓口サービスの向上を図るため、住基システム改修事業及び戸籍事務コンピュータ化事業を実施しました。

防災関係では、自主防災組織の資機材等を購入するとともに、第3分団屯所改修工事などを実施しました。

水産関係では、釣公園の施設の運営管理及び整備を行うとともに、釣堀事業などを実施し集客対策と経営の安定化に努めました。

公園関係では、直島ダム公園ピオトープ設置工事などを実施した。今後、活用できるようにすることが必要と考えています。

特別会計

●国民健康保険事業

被保険者数は880人となりましたが、一人当たりの医療費が高いという現状をふまえて、医療費適正化・安定運営に努力します。

●介護保険事業

介護保険事業計画は、制度改正や新保険料算定の基礎となる第5期計画を策定しました。

●診療所事業

入院収入、外来収入とも減となりました。今後とも地域医療を恒久的に継続できる体制を整え、健全で安定した診療所運営に努めます。

●下水道事業

使用料と一般会計からの繰入金で管理運営のための大きな財源となっています。この会計は、町財政を圧迫する会計になることが懸念されるので、経費の節減に努力し、衛生的な生活環境の確保などに努めます。

主な質疑

備蓄施設の整備は

Q

(中野) 大震災で被災したときの飲料水などの備蓄施設は、

A

(町長) 今年度は備蓄施設を診療所内に建てる。東部は、公民館などを改修するときに建てる。

また、緊急時の飲料水確保のため直島ダムの堤を調べてから使えるようにしたい。

禁煙でないのか

Q

(井下) 海の駅で屋根がある長イスの所でタバコを吸っている。注意喚起するなどの

対応を。

A

(町長) 禁煙については、タバコの警備の委託先に十分指示したい。

ピオトープの活用は

Q

(丸山) ピオトープを設置したが、道路が狭いことなどで使

用していないが。

A

(町長) ホタルが育つようにするためには費用が必要であり、徐々に整備し活用

したい。



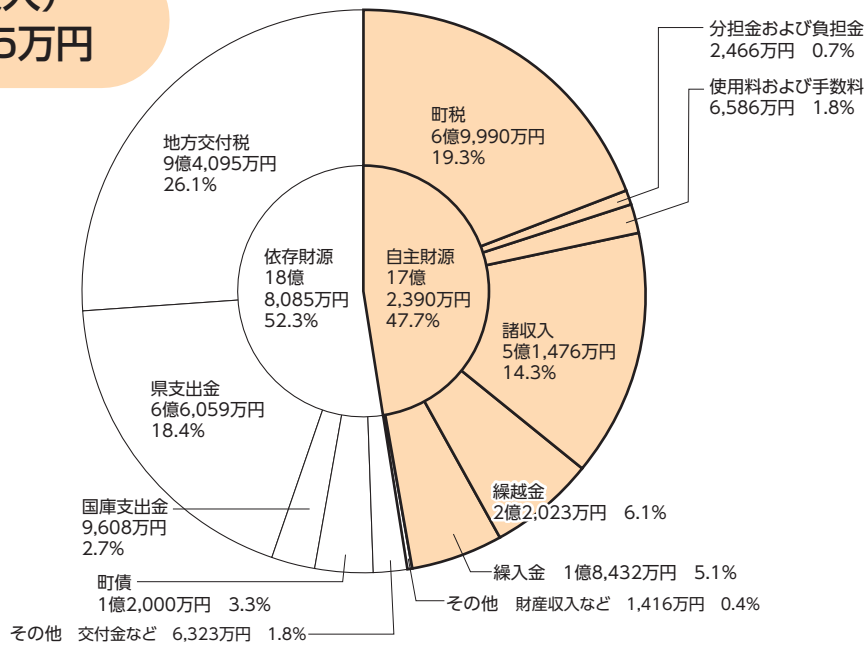
ここは禁煙(海の駅)

平成23年度 一般会計決算（歳出） 33億4440万円認定

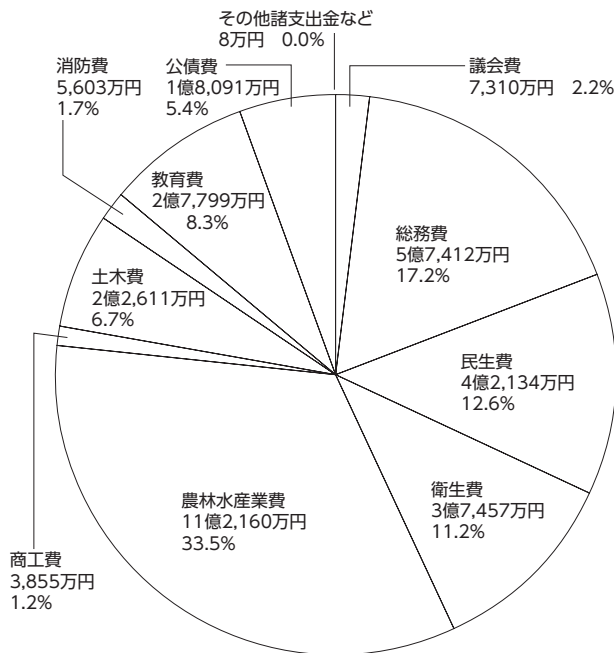
大震災

平成23年度一般会計歳入歳出構成図

歳入（収入）
36億475万円



歳出（支出）
33億4440万円



(グラフの数字は万円単位にしていますので合計が一致しないことがあります。)

歳出（支出）の主なもの

- 同窓会開催助成
- 直島出合い隊への助成
- 子ども手当の支給
- 総合福祉センター大規模改修
- 6歳未満児までの医療費補助
- 住宅用太陽光発電システム設置補助
- 休耕田へのひまわりの植栽
- 積浦漁港物揚場建設工事
- 直島の火まつり
- 第2回瀬戸内国際芸術祭準備
- 直島ダム公園ピオトープ設置工事
- 高校生通学航路費等補助
- 小・中学校空調設備整備工事
- 県指定文化財女文楽の維持保存
- 太鼓・屋台等の助成

平成23年度決算 主な質疑

一般会計

Q (丸山) 町営バス 使用料の内訳は。

A (総務課長) 町営バスが98%、町民専用小型バスが2%である。

Q (大谷) ため池堤 雑木除草は毎年行っているのか。

A (建設経済課長) 随時行っている。平成23年度は広木池と姫泊池で行った。

Q (浜口) 海の駅の 使用が設計者の規制により、非常ににくい。改善はできないか。

A (町長) 当初は、設計者の厳しい規制があったが、現在はかなり改善されていると思う。屋根の改善は難しいが、要望があれば検討したい。

特別会計

診療所事業

Q (丸山) 島しょ部における看護師等確保対策事業費は何に使われているのか。

A (事務長) 県派遣看護師の研修等で、かかった費用を県が補助する事業だ。

Q (大谷) ショートステイ事業は、たくさんの方が利用しているのか。

A (事務長) 去年の8月から病床数が9床になった。常時8~9割が利用されており、平成22年度に比べ大幅に増加している。

介護保険事業

Q (大谷) 地域支援事業の任意交付金とは何か。

A (住民福祉課長) 地域包括支援センターの運営経費で、通信

釣公園事業

Q (丸山) 釣堀のシーズンオフに、小魚を入れて営業しては。

A (建設経済課長) 水温が下がると魚が死んでしまう。また、風も強くなるので観光客は来ないと思う。

Q (大谷) 調理場に 食器洗浄器を設置してほしいが。

A (町長) もう少し働きやすくなるよう、検討したい。



ちよっと狭い釣り公園調理場

討論

診療所事業

賛成 (丸山) 診療所ができて離島医療の不安が少しは解消された。しかし、23年度は診療収入が減少している。今後利用者が増えるようがんばってほしい。

また、医師・看護師の確保にも努めてもらいたい。

釣公園事業

賛成 (井下) 民間委託はなかなか難しいと思うが、前向きに検討してほしい。また、工夫をして施設の有効活用、働きやすい施設に改善してほしい。

簡易水道事業

賛成 (井下) 今後多くの改良工事が続くので無事に終わるように。また、緊急時に備えダムの水の飲料水化の検討も要望する。

監査報告

「まじめに税等を納めている人、正直な人が損をする事のないように」

監査委員 岡田 英機
同 小野 孝一

平成23年度の一般会計・特別会計・簡易水道会計について、証拠書類および関係諸帳簿を基準として審査した結果、会計経理は適正と認めた。

〔主な指摘事項〕

《一般会計》
税の徴収率は高水準を維持しているが、一部で滞納が見受けられるので、完納に向け努力を願う。
また、東日本大震災等の影響で先行きが不透明な中での難しい財政運営である。町の将来を見据え、限られた財源で最大の効果を発揮し、行財政運営を望む。

《特別会計》

《国民健康保険事業》
税の滞納が前年度より増えているので、滞納額を減らすようお願いしたい。
また、医療費の適正化を図るべく、一層の努力を望む。

《診療所事業》

一般会計から多額の繰入金で運営している。住民から信頼され、親しみのもてる診療所として努力し、健全な財政運営を望む。

《釣公園事業》

23年度は、強風や猛暑で利用客が減っている。施設環境等の向上を図りつつ、集客対策を模索し、健全運営に努めるとともに、民間委託へ運営方法の見直しも要望する。



大谷 智子 議員

離島の
火災は

町長 どう考えますか

一般質問

世界に
PRを



井下 良雄 議員

2議員が登壇し町政を問いました

「直島町」を「アート島町に」
「町長」総合計画で検討する

去る7月27日、「ベネッセアートサイト直島」20年の歩みを振り返るシンポジウムが東京で開催された。パネリストに安藤忠雄氏、福武總一郎氏、コーディネーターに北川フラム氏が出席、直島アート活動20年を振り返り、そして今後の展開をも熱く語られていた。

これを新聞で読んで私も熱く語られていた。また、東かがわ市ではそんななか現在香川県では「うどん県」として全国にPR。その後瀬戸内国際芸術祭の開催もあり「アート県」としてもPRしている。

「手ぶくる市」として日本一の手袋産地をPRしようとしている。そこで直島町も「アート香川県」の代表、アートの聖地と言われ世界中から注目を集める今、世界にひとつだけのアートの島として「アート島町」といったようなキャッチフレーズで、全国にそして世界にPRすべきと考える。

（町長）3氏が東京で小さな島「直島」を熱く語っていた

香川県に「離島の山林火災は初期より防災ヘリが出動する」というシステムを強く要請していただきたい。

井島の山林火災時は初期から防災ヘリが出動した。井島には民家と小豆島に送電する設備があり海水が使用できないため消火に手間どった。

町消防団員減少の折、地域防災の担い手として、南海トラ

大人気！



草間彌生「赤かぼちゃ」2006年 宮浦港緑地

いたのは大変ありがたかった。

「うどん県かがわ県」

のPRはかなりの効果をあげており、大変有効な手段であると思う。

今、直島町はアートの島として国内外から注目されており、県の代表のように紹介されている。

アートが直島PRの有効なキーワードにはまちがない。

現在、第4次総合計画を策定中であり、町のPRの目玉となるキャッチフレーズの決定も重要なこと。議員の意見も含め検討したい。

（井下）直島町が一島の島だからできること。直島が香川の、瀬戸内海の、そして日本の「アート」の代表として輝いていくよう願っている。

防災ヘリで初期消火を

「町長」初期に要請したが消火に手間どった

昨年8月発生した山林火災は玉野市側の石島も含め島の9割が焼失した。町消防団、玉野市消防等から約165人が出動。香川、岡山県の防災ヘリの他、徳島・高知県

の防災ヘリ・陸上自衛隊にもヘリを要請して消火活動が行われた。香川県は離島が多く、



直島ダムで水を汲む防災ヘリ

人口減少、高齢化になつており、どの自治体も山林火災が発生すれば大変なことになる。

フによる津波など、新たな任務が課せられた。過去50年間の山林火災と民家火災の発生件数は。

山林火災が63件。民家火災が46件だ。

団員の年代別人数は。

10代8人・20代43人・30代25人・40代33人・50代20人・60代2人 計131人だ。

団員確保の見通しは。

人口の減少によつて団員の確保が困難になった。今後、真剣に積極的に取り組んでいく。

消火水利の溜め池の数は。

27の溜め池はあるが水量の少ない所もある。これからも整備していく。町民の方も関心を持って、安心安全な町づくりに協力してほしい。

防災計画見直しは

浸水面積が増えた



濱田町長

町長報告

(主なもの)

- 6月6日 琴反地海岸において増殖場造成工事のイメージアップ事業として幼児学園園児によるアサリ稚貝の放流を実施しました。
- 6月13日 香川大学地域マネジメント研究科の四国経済事情「地域活性化と地域政策」の授業の講師として出席しました。
- 7月18日 全国知事会のイベントとして各県知事等と直島の子どもたちが一緒になった「土のワークショップ」が開催されこれに出席しました。
- 8月3日 (仮称)直島町民会館の基本設計業務中間報告会を開催し、三分一氏から概要について説明を受けました。
- 8月20日 議会からも要望のありました仮設の海拔標識を町内9カ所に設置しました。
- 8月28日 社会福祉法人ことぶき会の佐能理事長他が来庁され、レファシード直島の増築計画等の説明を受けました。

「活性化対策について」

- 6月21日 香川県の木村廃棄物対策課長他が来庁され、豊島廃棄物等の増加について報告を受けました。全体量は、体積ベースで変わらないものの、重量ベースでは93万8千トン前後になると見込まれています。処理量については毎年現地測量を実施するので、今後増減する可能性があります。

主な質疑

町長・香川大学で講師に

Q (大谷) 香川大学で町長が講演をされたが、参加人数と内容は。(町長) 参加者は34人か35人だ。直島の今までの全般的な流れ(アート・環境・建築・産業・教育等)について話をした。

宮ノ浦航路は

Q (丸山) 風戸航路を運航したいという事業者があるらしいが宮ノ浦航路では、そのような話はないか。

A (町長) ない。風戸航路だけだ。

Q (井下) 町内一斉清掃で出たゴミの重量は計っているか。

A (町長) 計っている。

環境水道課長

A (環境水道課長) 計っている。重量は9tで昨年とあまり変わっていない。

長く先生にうらほ

Q (大谷) 新しく来た外国語指導助手のトーマス・モナハン先生は、どこの国の方で、何年居てくれるのか。

A (教育長) イギリス出身で、何年居てくれるのかは今のところ決まってない。

津波の高さの位

Q (浜口) 海拔標識をつけたことで、高さの目安、災害に対する意識の高揚もはかられていると思うが、津波の高さはどのように考えればいいのか。

A (町長) 基準になる数値はあるが、自然条件によって変わる。

町出身者にイベント出演依頼を

Q (大谷) 今年の火まつりは、見物客が多かった。またライブは町出身者だった。他のイベントにも出てもらうには。

A (町長) 町出身者で活躍している人がいれば、できるだけバックアップしたいと思っている。

どうなる防災計画

Q (作田) 防災計画の見直しについて、もう少し詳しく説明してほしいが。

A (町長) 県が各町の担当者を集めて説明会があった。直島は震度6弱、津波3m、浸水面積が35haから90haに増えた。なぜ増えたのか県に聞いたが、県もわからないと回答があった。今後、県が発表する各町の被害対策計画を受けて、町も見直す。

レファシード直島に増築計画

Q (小野) レファシード増築(16床)はどこに建てるのか。

A (町長) 現在のレファシードが建っている山側の敷地内に増設する。



レファシード増築予定地

Egg ?

ベリー・グッド



教育長報告

岡教育長

(主なもの)

- 7月13日 平成24年度学校給食委員会を開催し、給食試食会を実施するとともに本年度の事業計画を協議しました。
- 7月17日 幼小中連絡会を開催し、学期制の問題・いじめ問題への対応などを協議しました。
- 7月21日 子ども会連絡協議会主催による、町内清掃奉仕活動が行われ、子ども90人・大人40人が参加しました。
- 7月24日 香川県中学校総合体育大会で柔道競技女子個人の部で直中3年生の蓬 春奈さんが優勝されました。なお、四国・全国大会でも善戦しました。
- 7月27・28日 中学校生徒会主催による、直島一周ゴミ拾いツアーが行われ、生徒・教職員・直島ライオンズクラブも参加しました。
- 8月8日 通学路合同点検を実施し、学校、警察、教育委員会、道路管理者等関係者が通学路の危険性の有無等について点検しました。
- 8月19日 Eggガイド活動開始式が海の駅で行われ、町長からEggのメンバーに激励のあいさつが行われました。その後Eggメンバー9人が、外国人観光客に対し英語でガイドを行いました。当日「和 Cafe ぐう」の香川大学生5名も協力者として参加しました。
- 8月21日 3学期制検討委員会から、教育委員会に対し「3学期制が望ましい」との答申がなされました。
- 8月27～30日 中学校野球部が東京都八丈島で開かれた第5回全国離島交流中学生野球大会に出場し、ベスト8に入賞を果たしました。

主な質疑

学校給食の味付

Q (大谷) 給食の試食会での感想は。
A (教育長) 味など昨年と変わらないと聞いている。

食材の安全性は

Q (丸山) 学校給食の食材は大丈夫か。
A (教育長) 検査を充分行っている学校給食会などを通じて購入しているのだから、安全だと今後とも安全確認に努める。

いじめ対策は

Q (丸山) いじめ問題の対応は。
A (教育長) 日常生活のなかで子どもを注意深く観察し、変化があればすぐ連絡し合う。

E・g・g!!

Q (井下) Eggの意味は。



Eggが英語でガイド(ちゃんと通じるかな?)

A (教育長) イングリッシュ・ガイド: グループの頭文字を合わせたもの。

Q (井下) 外国の観光客に対し初めてのガイドを行った反応は。

A (教育長) 外国人いわく「ベリーグッド」であったと聞いている。

によるガイドをして貴重な体験になり励みにもなったとのことだった。

Q (中野) 3学期制検討委員会をたび

A (教育長) 9月後半の定例教育委員会で結論を出したい。

委員会レポート

8月20・21の両日、合同常任委員会を開催し各課から事業・行事等の報告を受け、議論をかわしました。主なもののみ報告します。



作田 宏 委員長



中野 善正 委員長

経済・民生

総務・文教

〔住民福祉課〕
 ◎レファシード直島
 ・施設入所者50人（内町
 入所待機者47人（直島在住）

〔住民福祉課〕
 ・胃カメラ検査 17人
 ・病床稼働率 46・5%

・入院患者 5,709人
 1,080人
 ・時間外救急患者 206人

〔環境水道課〕
 ◎簡易水道事業（3月か
 ら7月まで）
 中学校前から宮ノ浦
 方面へ配水管布設中

・高専貸入居者8室入居 8人
 ・通所サービス利用者 21人

◎小規模多機能型介護施設
 設直島げんき

・居宅介護支援事業 21人
 ・利用者 166人
 ・シヨートステイ事業 47人
 ・入所待機者 47人

〔建設経済課〕
 ◎環境衛生事業
 7月21日 ゴミ0ク
 リーンデーで町内一斉清
 掃を実施した。

（8月1日現在）
 ◎下水道事業
 接続戸数 1,342戸
 水洗化率 95・23%

・風戸山配水管布設は、
 オノ神信号辺りの県道
 から開始し、現在大坂
 地区を布設している。
 重要給水管布設は中学
 校前から宮ノ浦方面へ
 布設中である。

〔建設経済課〕
 ◎カラス7羽を駆除
 ・6月2日 農作物の被
 害を防ぐため、カラス
 の駆除を積浦・本村・
 納言様で実施し、7羽
 を駆除した。
 ・6月6日 琴反地海岸
 において幼児学園児に
 によるアサリ稚貝210
 kgの放流を実施した。
 ・7月18日 全国知事会
 議のプレイベントとし
 て各県知事等と直島の
 子どもたち19人の計35
 人による「土のワーク

・8月4日 第27回「直
 島夏まつり」が町民グ
 ランドで開催され、約
 800人が参加した。
 ・8月8日 通学路の安
 全確保のため5箇所
 の現場点検を行った。
 ・8月18日 第11回「直
 島の火まつり」をつつ
 じ荘で開催。初の水
 花火もあり、約1、
 800人が参加した。

〔ふれあい診療所〕
 （4月から7月末まで）
 診療件数1日 68・8人

民42人、町外者8人
 ・入所待機者 47人
 ・シヨートステイ事業 47人
 ・利用者 166人
 ・居宅介護支援事業 21人

・受水状況 4、168
 m³/日
 ・風戸山配水管布設は、
 オノ神信号辺りの県道
 から開始し、現在大坂
 地区を布設している。
 重要給水管布設は中学
 校前から宮ノ浦方面へ
 布設中である。

〔建設経済課〕
 ◎カラス7羽を駆除
 ・6月2日 農作物の被
 害を防ぐため、カラス
 の駆除を積浦・本村・
 納言様で実施し、7羽
 を駆除した。
 ・6月6日 琴反地海岸
 において幼児学園児に
 によるアサリ稚貝210
 kgの放流を実施した。
 ・7月18日 全国知事会
 議のプレイベントとし
 て各県知事等と直島の
 子どもたち19人の計35
 人による「土のワーク

・8月4日 第27回「直
 島夏まつり」が町民グ
 ランドで開催され、約
 800人が参加した。
 ・8月8日 通学路の安
 全確保のため5箇所
 の現場点検を行った。
 ・8月18日 第11回「直
 島の火まつり」をつつ
 じ荘で開催。初の水
 花火もあり、約1、
 800人が参加した。

常任委員会

〔総務課〕
 ◎消防団3役決まる
 ○7月13日 直島町消防
 団夏季訓練並びに総会
 （当日、雨天のため総
 会のみ中学校体育館で
 実施）を開き、団長と
 副団長2人を決めた。

〔総務課〕
 ◎計画の中間報告に来る
 ○8月3日（仮称）町
 民会館建設基本計画
 中間報告に三分一氏が来

〔総務課〕
 ◎混雑対策実施
 ○8月11日～15日 お盆
 期間中の混雑対策実施。
 ・混雑状況に応じて通
 園バス・旧1号車・
 旧2号車を運行。
 ・期間中、宮浦港、農
 協前、つつじ荘で乗

〔総務課〕
 ◎混雑対策実施
 ○8月11日～15日 お盆
 期間中の混雑対策実施。
 ・混雑状況に応じて通
 園バス・旧1号車・
 旧2号車を運行。
 ・期間中、宮浦港、農
 協前、つつじ荘で乗

〔総務課〕
 ◎混雑対策実施
 ○8月11日～15日 お盆
 期間中の混雑対策実施。
 ・混雑状況に応じて通
 園バス・旧1号車・
 旧2号車を運行。
 ・期間中、宮浦港、農
 協前、つつじ荘で乗

〔総務課〕
 ◎混雑対策実施
 ○8月11日～15日 お盆
 期間中の混雑対策実施。
 ・混雑状況に応じて通
 園バス・旧1号車・
 旧2号車を運行。
 ・期間中、宮浦港、農
 協前、つつじ荘で乗

〔総務課〕
 ◎混雑対策実施
 ○8月11日～15日 お盆
 期間中の混雑対策実施。
 ・混雑状況に応じて通
 園バス・旧1号車・
 旧2号車を運行。
 ・期間中、宮浦港、農
 協前、つつじ荘で乗

〔総務課〕
 ◎混雑対策実施
 ○8月11日～15日 お盆
 期間中の混雑対策実施。
 ・混雑状況に応じて通
 園バス・旧1号車・
 旧2号車を運行。
 ・期間中、宮浦港、農
 協前、つつじ荘で乗

〔総務課〕
 ◎混雑対策実施
 ○8月11日～15日 お盆
 期間中の混雑対策実施。
 ・混雑状況に応じて通
 園バス・旧1号車・
 旧2号車を運行。
 ・期間中、宮浦港、農
 協前、つつじ荘で乗

〔総務課〕
 ◎混雑対策実施
 ○8月11日～15日 お盆
 期間中の混雑対策実施。
 ・混雑状況に応じて通
 園バス・旧1号車・
 旧2号車を運行。
 ・期間中、宮浦港、農
 協前、つつじ荘で乗



玉野市との連絡協議会（産業振興ビル）

庁した。
 計画が期限内に完了す
 ることや議会にも説明す
 るよう依頼した。（10月
 末頃来庁の予定）

〔総務課〕
 ◎混雑対策実施
 ○8月11日～15日 お盆
 期間中の混雑対策実施。
 ・混雑状況に応じて通
 園バス・旧1号車・
 旧2号車を運行。
 ・期間中、宮浦港、農
 協前、つつじ荘で乗

誠意ある対応を要望する



井下 良雄 委員長

活性化対策特別委員会



活性化対策特別委員会

8月21日、県から工代環境森林部長ほか担当者の出席のもと、委員会を開催しました。

はじめに町長から「最近の県の町に対する対応が思わしくなく、議長と連名で知事宛に文書を提出、8月27日に知事と懇談して」と挨拶がありました。

続いて工代部長から「町長・議長から知事宛

に文書をいただいた。大変重く受け止めている。どうやって信頼回復するか話し合い、受け入れ4条件を再確認し全力で取り組みたい」と挨拶がありました。

①豊島廃棄物処理事業の状況
②廃棄物の残存量の推計
③直下汚染土壌の処理方法の検討

の3点について説明を受

け、質疑に入りました。主な質疑は

Q ②の対応で処理アップの具体策は。

A 溶融炉の定期整備の回数削減と、

土砂と廃棄物の混合割合を40%から47%に上げて処理量アップを図る。

Q 処理期間延長で三菱からの出向者の延長期間はどうか。

三菱と相談している。本人の意向もあり、それに沿った形にしていきたい。

A 直下土壌のセメント原料化は、実物を会社に搬入して検討されているのか。

Q 一部の会社にサンプルを渡したり、分析データを送り検討をお願いしている。

続けて意見交換を行っている。

議員から、

☆直島が受け入れを決めた時のことを忘れないように等、多くの意見要望が出されました。最後に県に対し、

受け入れ時の苦勞、苦渋の選択を肝に銘じ、誠意をもって対応するよう。27日の懇談が本

当に満足いくものになるよう要望して委員会を終了しました。

議 ◆ 会 ◆ の ◆ 動 ◆ き

平成24年7月

- 6日 玉野市・直島町連絡協議会
- 23日 県広報発行町議会連絡協議会研修会

平成24年8月

- 20日・21日 総務文教・経済民生合同常任委員会
- 21日 活性化対策特別委員会

平成24年9月

- 7日 議会運営委員会・広報編集特別委員会
- 11日～18日 平成24年第3回定例会
- 18日～28日 広報編集特別委員会

どんどん応募してください！
表紙用の写真募集
(議会だより用)



直島町議会広報委員会では議会だよりの表紙用の写真「地域のイベントや子どもたちを題材とした写真」を広く町民から募集します。採用分には、記念品をお贈りします。
なお、詳細は議会事務局(☎892-2297)までご連絡ください。

通学航路費等補助が2倍に

平成24年度補正予算



資源化施設建設予定地（本荘ケミカル上）

一般会計

資源化施設の設計委託や高校生通学航路費等補助として858万円を追加し、29億6920万円となりました。

- 歳入
 - 国の補助金 216万円追加
 - 繰越金 641万円追加
 - 歳出の主なもの
 - 資源化施設設計委託料 577万円追加
 - 高校生通学航路費等補助 226万円追加

特別会計

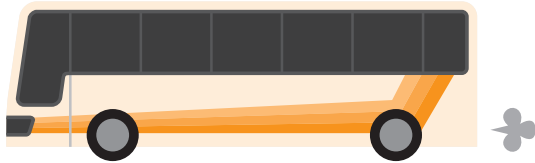
国民健康保険事業

歳入歳出予算の総額にそれぞれ994万円を追加し、4億9462万円となりました。

- 歳入
 - 歳入 970万円追加
 - 繰越金 970万円追加
 - 歳出の主なもの
 - 一般被保険者療養費 70万円追加
 - 償還金 912万円追加

備品購入契約

町営バス（中型）購入契約 1225万円
通園や葬儀用などで運行している中型バスが、16年を経過して傷みが激しいため買い替えるものです。



町営バス
買い替えます

条例改正

直島町高等学校生徒通学航路費等補助金交付に関する条例の一部を改正する条例
国の制度に離島高校生修学支援費が新設されたため高等学校等への通学航路費等補助金が4月分から2倍になります。

- 通学のため必要とする定期乗船券の購入費に對する補助金が「10分の3」から「10分の6」になります。
- 部活動等のため、定期乗船券で定められた以外の航路を常時利用して通学する経費又は通学が困難なため下宿する経費の2分の1の限度額が年間「5万円以内」から「10万円以内」

通学航路費等補助条例の一部改正

になります。



意見書提出

「地球温暖化対策に関する」地方財源を確保・充実する仕組みの構築を求める」
二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築することを強く求める。
（提出先）内閣総理大臣、農林水産大臣、環境大臣、衆・参議院議長 他。

森林の整備・
保全等のために



あれ、どんなっとん!

このコーナーは、議員が以前に一般質問や委員会などで質問した問題が、その後どうなっているかを追跡してお知らせします。

小・中生徒が英語でガイドを

小・中生徒がミート・ザ・ワールドなどで英会話に積極的に取り組んでいる。瀬戸内国際芸術祭などで外国人に英語でガイドをできないか。(井下議員)
平成22年3月議会 教育長報告で



答 弁

生徒のガイドについては検討課題が多く残っている (岡教育長)



その後

7月12日
Naoshima Egg 推進委員会設立
8月19日
Naoshima Egg ガイド活動開始式

その後 Egg のメンバー9人が外国人観光客に対しガイドを行った。
※ Egg = English guide group の略でメンバーは中学生4人と一般の人5人。



外国人にガイド中

海拔標識の設置を

津波高潮対策の一環として、町民の防災意識高揚のため「海拔標識」を設置してはどうか。(浜口議員)
平成23年12月議会 町長報告で



答 弁

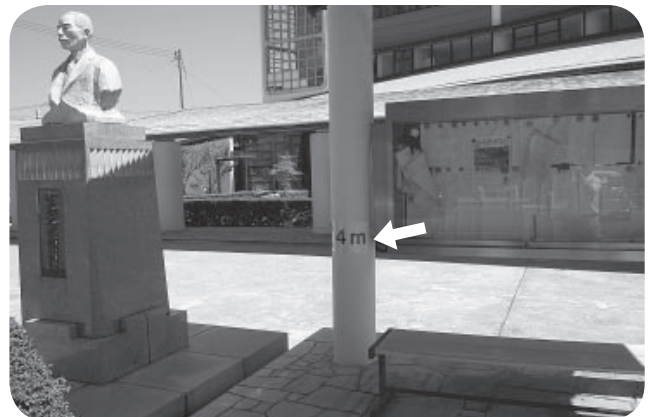
他の市町でも設置している例があるので検討する。(濱田町長)



その後

8月20日
仮設の海拔標識を
町内9カ所に設置した。

役場前・農協・人材センター・積浦集会所・西部公民館前・ふれあい診療所前ゴミステーション・福祉センター分館・横防公園前・スラグ陶芸体験工房



海拔標識 (役場前)

消防団第1分団 操法チーム

がんばりよるで

やるからには

日本一でしょ！



乾分団長



操法開始！

「放水はじめ」「ヨシ」はち切れんばかりの大声が、仕事を終えた夕方吉野石膏工場内に響きわたります。今回は10月7日の全国消防操法大会出場を控えて、日々猛練習に励む第1分団操法チームの登場です。

Q 乾分団長、選手を紹介して下さい。

乾 指揮は大谷関二君、1番員は谷口貴大君、2番員は中根瞬君、3番員が水野陽一君、そして補助員の赤

松裕介君の5人です。

Q 精銳ぞろいですね。仕事を終えての練習、大変でしょう。

大谷 正直大変ですが、選手だけでなくサポートの皆さんも大変です。

Q 練習のペースは。

大谷 全員の仕事の都合で、集まる日は全てががんばりよります。

Q 町外での練習や指導を受けに出かけたことは。

乾 2年前、名古屋での全国大会を6人で見学に行きました。あとはVD等を見て独学で練習しました。

Q 長期間の練習や県大会特別演技等での苦労話や思い出はありますか。

大谷 「やるからには日本一」と始めたが、体があまりにも動かないのに愕然としました。しかし、他の若いやつに負けんように老体にムチ打ってます。6kg痩せました。

水野 最初は正直イヤイヤやったけど段々楽しくなってきた、他の分団のみんなに助けてもらってきたことが何よりです。

特に奥さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

中根 最初は放水やポンプ操作等初歩段階での苦労が絶えなかったが、今は基本動作（指先・足の角度・動作速度等）の苦労が絶えません。



放水始め！

Q 本番まであと少し。皆さん、意気込みを。

大谷 やるからには最高のメンバー、サポートとともに日本一を目指す。

谷口 今まで手伝ってくれたサポートメンバーに感謝しながらがんばる。

中根 練習してきた100%の力が発揮できるように最後までがんばる。

水野 やるからには全国1位でしょ！

赤松 練習とおりの操法ができるようがんばる。

Q 最後に、乾分団長から皆さんに激励の言葉を。

乾 去年県大会で優勝旗を持ち帰った。今年は全国大会の優勝旗を直島に持って帰ろう。

まだまだ暑いなかでの練習ですが、体に気をつけてがんばって下さい。全国大会での好成績を期待しております。

「団結！第1分団操法チーム」



編集後記

北海道ではロシアとの北方領土、日本海では韓国と竹島、南方では中国などと尖閣諸島で近隣諸国と領土問題で軋轢が生じている。

特に、中国は尖閣諸島は自国の領土だと主張し、日本の国有化に對し、日本製品の不買運動を中国政府高官が容認する発言をしている。

そして、中国在留の日本人に対する暴力や日系企業への破壊行為、略奪、さらには放火など、まるでテロ行為のような行動には、政府として嚴重に対処すべきと考える。

昨年3月11日に発生した東日本大震災では被災された方々が整然と行動し、耐えている姿を世界中が絶賛したことを忘れることはできない。

このことと本質は異なるが、暴力行為をする、しない、ということとは、日本と中国の国民性の違いと言ふべきか。（小林記）

議会広報編集特別委員会

- 議長 蓬 清二
- 委員長 丸山 義朗
- 副委員長 作田 宏
- 委員 議員全員